

第二十二回全國大會 提出議案

来る十一月三、四、五の三日間に其り開催される、總同盟全國大會の提出議案は左の通りである。(十月二十日迄に到着の分)

議案	提出組合	説明者
一 労働組合法制定の件	本部	徳永正徳
一 労働組合法改正の件	同	今津菊松
一 労働協約法制定の件	同	金光一
一 失業保険法制定の件	同	原虎平
一 災害扶助法適用範囲擴張の件	同	前田種男
一 国際労働條約批准促進の件	同	金正米吉
一 團體保險法の件	同	齊藤健一
一 貨銀値上げによる大衆購買力増進の件	同	土井直作
一 産業及び労働統制の件	同	西尾末廣
一 定期昇給制度復活要求の件	同	山田重太郎
一 紡織労働者保健に関する件	同	中尾金三郎
一 友産産業労働者全國統一連絡に関する件	同	服部岩藏
一 紡織労働者最低賃銀獲得に関する件	同	國島泰治郎
一 臨時工人名義雇入絶対反対の件(製糖労働、電線工、京都聯合會)	同	鷲塚孝
一 全國大會を毎年開催するの件(電線工組合)	同	
一 労働組合法制定促進の件	同	

罷業相互金庫

罷業相互金庫の本年度積立金は二千二百二十五圓九十錢である。本年度の積立金は、前年度より二六圓二六錢に減少した。

預金部 (八月末現在)	金額
定期預金	三、四〇九、五三、四
定額預金	四、七二〇、八八
通常預金	三、四、九五〇、〇六
積立金	二、六九一、八八
受入利息其他	七、七、六九、四三

罷業一覽

罷業は、十五件であつて、昨年より二件の増加であつた。参加人員数は六百五五人、争議費用合計三千八百一圓五十二錢である。

労働會館	所在	争議内容
労働會館	大阪府	新築したものは、左の三つである
名所	在在	工賃
大阪労働會館	大阪府	大阪労働會館
大島労働會館	大島町	大島労働會館
市川労働會館	千葉市川町	市川労働會館
秋田労働會館	秋田縣能代港	秋田労働會館

故川又由之助君の逝去を悼む

君は大正十三年八月組合員となり、以来十餘年間組合幹部として我支部の爲、一意つとめられた。昨年五月病を得られ、九月五日三十七歳を一期として不歸の旅に立たれたことは、我支部に我支部の爲に哀惜に堪へない。ここに労働誌上をかりて、君の功績を悼み、深く哀悼の意を表する次第である。尚本部職工共済部より三十圓、組合員より百三十四圓、各々料として、特別に供へ、告別式に組合代表四十名を参列したであつた。

益々充實を示す 關東同盟の内容

總同盟關東同盟は、總同盟の中堅組織として重きをなし、着々として運動方針の徹底に努め、十一月二十一日に第十二回大會を東京、日本労働會館に開いたが、左に報告の中から主なる點を抜き出して記すことにする。

會勢概況

本年八月現在加入組合数は二十四、その組合員は、五、四、四、四十七名、約一千三百名を増加す。然るに會費収入は二萬一千六百圓九十一錢にして前年度に比して約二千八百圓の減少を見たり。其本金、罷業相互金庫は、前年に比して何れも増加し、預金部、保險部及び協同組合の成績は別表に示せる如し。八月現在の團體協約は三十九箇六千八百四十三名にして本年度新成立は七箇三千五百三十四名なり。

特に本年度に於ては東京、バルブ會と關東、電線労働組合、東京、電線労働組合、東京、電線労働組合の如く、雇主團體との團體協約に進展したり。罷業切望する次第なり。

第一回發表 (十月二十日発表)

金額	組合
金三、五、五、九、九錢也	東京鐵工加盟各支部
金八、一、三、三、三錢也	中央合同
金二、八、〇、〇、〇錢也	紡織労働
金三、〇、〇、〇、〇錢也	東京勞工
金四、〇、〇、〇、〇錢也	運輸労働
金九、四、〇、〇、〇錢也	自動車労働
金四、一、五、五、五錢也	關東製造
金九、四、〇、〇、〇錢也	神奈川鐵工
金三、一、六、六、六錢也	神奈川製材
金三、四、六、〇、〇錢也	日本縫工組合
金三、〇、〇、〇、〇錢也	染色労働
金三、〇、〇、〇、〇錢也	セメント労働
金三、〇、〇、〇、〇錢也	石油労働
金三、〇、〇、〇、〇錢也	製鋼労働
金三、〇、〇、〇、〇錢也	一宮中央合同
金三、〇、〇、〇、〇錢也	個
合計 九〇、七、四、六、六錢也	

俳壇



東京鐵工本所第二支部
關根 福藏
紋の群をくぐりて門の中に入り
燈を消して月の光の中に入る

選局輯編
御會式の椰子過ぎれば夜寒かな
痛む妻の獨り看讀み秋しぐれ

三川 柳二
紡織 關地支部
魚野 金城
資本家は非常時局に謀をつけ
安全理の中にも能率下りがあり